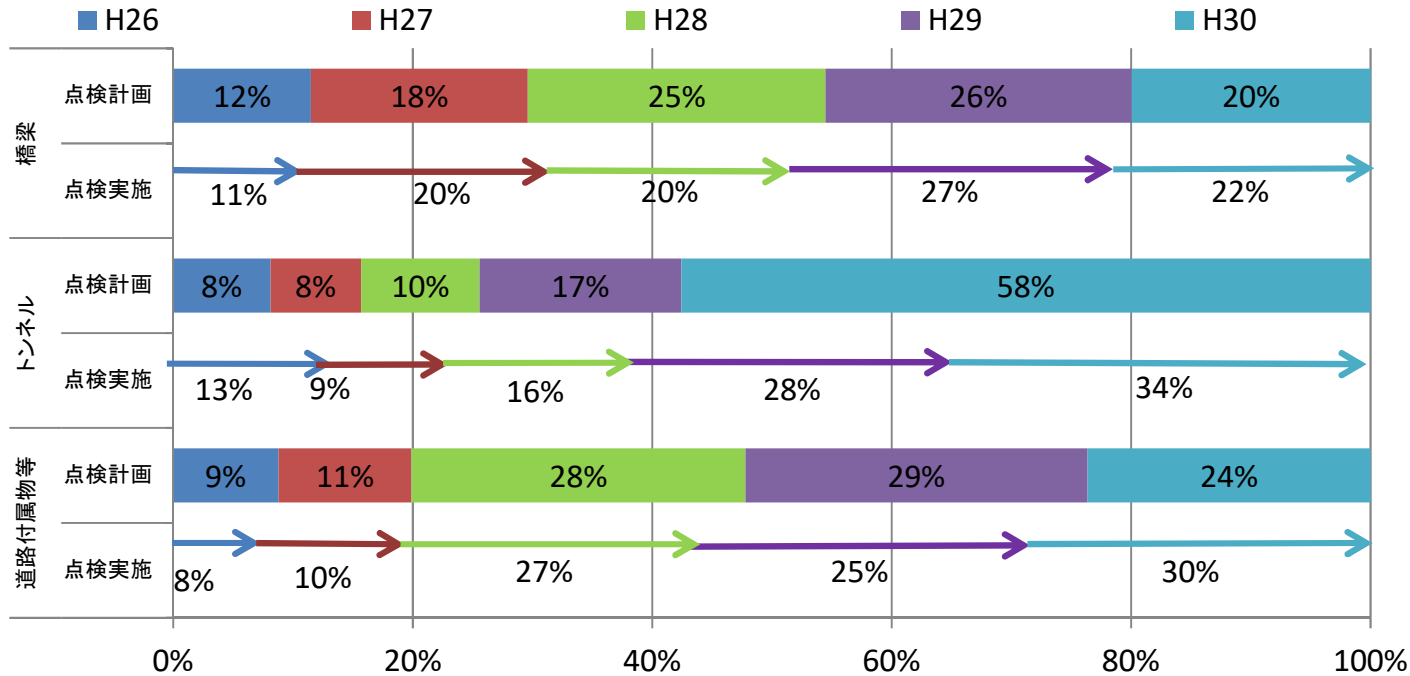


# 富山県内の点検進捗状況（全体）

- 平成26年7月の省令施行を踏まえ、道路管理者は全ての橋梁・トンネル・道路附属物等について、5年に1回の近接目視による点検計画を策定
- H30年度で1巡し、点検実施率は100%



【平成26～30年度 橋梁点検状況(管理者別)】

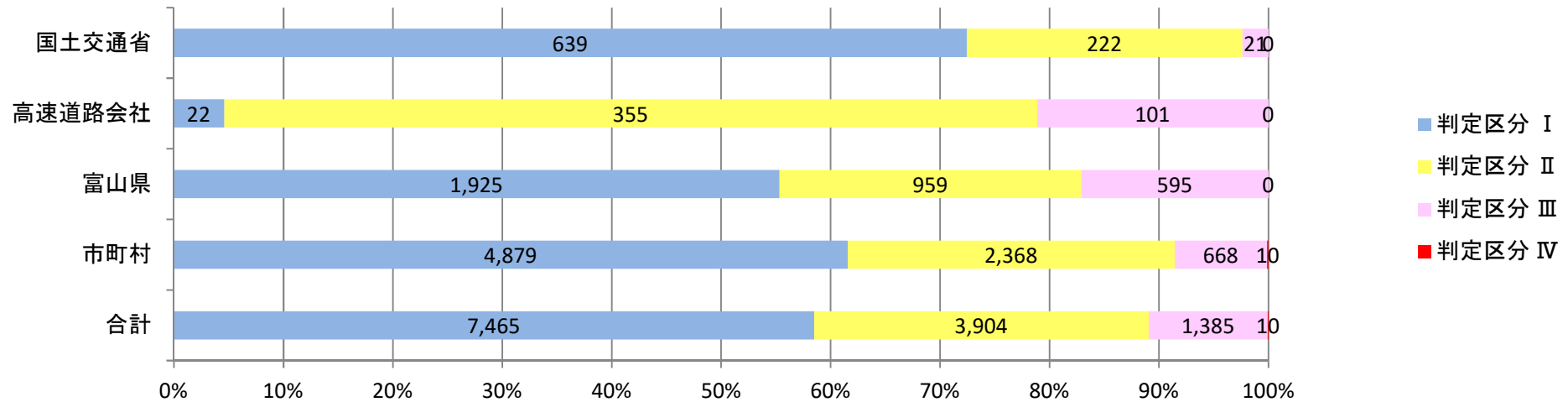
橋梁状況	管理施設数	点検計画数 (1段目:H26) (2段目:H27) (3段目:H28) (4段目:H29) (5段目:H30) (6段目:その他)	点検実施数 (1段目:H26) (2段目:H27) (3段目:H28) (4段目:H29) (5段目:H30) (6段目:その他)	点検実施率
国土交通省	882	76	55	100%
		190	162	
		190	209	
		180	223	
		190	233	
高速道路会社	478	77	77	100%
		120	117	
		88	90	
		49	48	
		143	146	
地方公共団体	11,394	1,298	1,258	100%
		1,976	2,333	
		2,854	2,254	
		2,998	3,140	
		2,184	2,394	
			15	

# 富山県内の平成26～30年度点検速報（橋梁）

資料 4 - 2

○ 1 巡目点検は、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は 10 橋（0. 1%）、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は 1, 385 橋（10. 9%）、判定区分Ⅱ（長期的な修繕コスト低減の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は 3, 904 橋（30. 6%）

橋梁の判定区分



平成26～30年度 管理者別点検結果（橋梁）

	橋梁数	点検実施数	判定区分			
			I	II	III	IV
国土交通省	882	882	639	222	21	0
高速道路会社	478	478	22	355	101	0
富山県	3,483	3,479	1,925	959	595	0
市町村	7,939	7,925	4,879	2,368	668	10
合計	12,782	12,764	7,465	3,904	1,385	10
			58.5%	30.6%	10.9%	0.1%

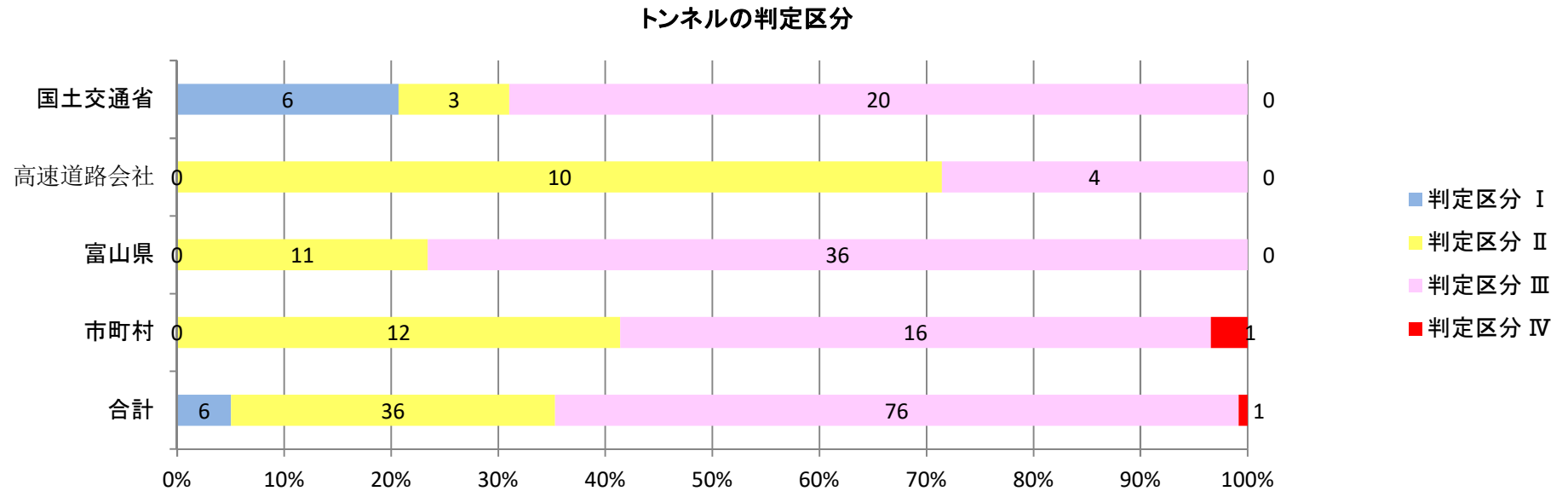
※平成31年3月末時点

※点検実施数は速報値であり、精査によって変更する場合があります

# 富山県内の平成26～30年度点検速報（トンネル）

資料 4 - 3

○ 1 巡目点検では、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は 1 本（0. 8%）、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は 7 6 本（6 3. 9%）、判定区分Ⅱ（長期的な修繕コスト低減の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は 3 6 本（3 0. 3%）



平成 2 6 ～ 3 0 年度 管理者別点検速報（トンネル）

	管理施設数	点検実施数	判定区分			
			I	II	III	IV
国土交通省	29	29	6	3	20	0
高速道路会社	14	14	0	10	4	0
富山県	47	47	0	11	36	0
市町村	30	29	0	12	16	1
合計	120	119	6	36	76	1
			5. 0%	30. 3%	63. 9%	0. 8%

※平成31年3月末時点

※点検実施数は速報値であり、精査によって変更する場合があります

# 富山県内の平成26～30年度点検速報（道路附属物等）

資料 4 - 4

○ 1 巡目点検では、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は 0 基（0%）、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は 1 9 4 基（2 5. 1%）、判定区分Ⅱ（長期的な修繕コスト低減の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は 4 8 9 基（6 3. 2%）

道路附属物等の判定区分



平成26～30年度 管理者別点検速報（道路附属物等）

	管理施設数	点検実施数	判定区分			
			I	II	III	IV
国土交通省	123	123	46	47	30	0
高速道路会社	141	141	14	112	15	0
富山県	462	460	32	295	133	0
市町村	54	54	3	35	16	0
合計	780	778	95 12.2%	489 62.9%	194 24.9%	0 0.0%

※平成30年3月末時点

※点検実施数は速報値であり、精査によって変更する場合があります

判定区分Ⅳの施設は、緊急措置を実施。

## ＜判定区分Ⅳの構造物＞

### ○橋梁

管理者	施設名	路線名	建設年	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置
富山市	ませぐちばし 馬瀬口橋1号	市道下番殿様林線	不明	橋座コンクリートの割れ	常時監視	モニタリング状況を確認の上、更新予定(年度未定)
富山市	かめいわばし 瓶岩橋	市道松ノ木横江線	1972	支承ローラーの損傷 橋台コンクリートの割れ	全面通行止め	未定

### 12 ○トンネル、道路附属物等

管理者	施設名	路線名	建設年	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置
富山市	すなくら 砂蔵トンネル	市道蟹寺加賀沢線	1977	側壁に段差を伴うひび割れ 坑門ひび割れ	全面通行止め	詳細調査、モニタリングシステム設置予定(年度未定)

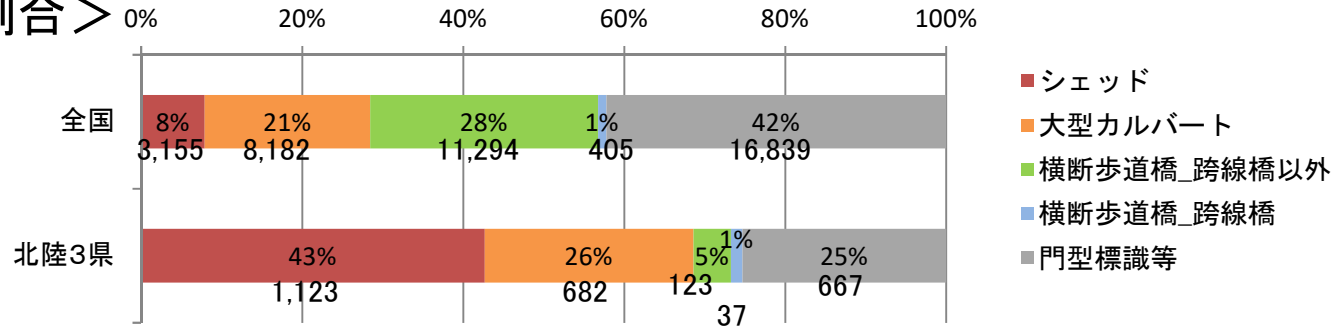
### ※判定区分

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

# 道路附属物（シェッド）の点検結果（1）

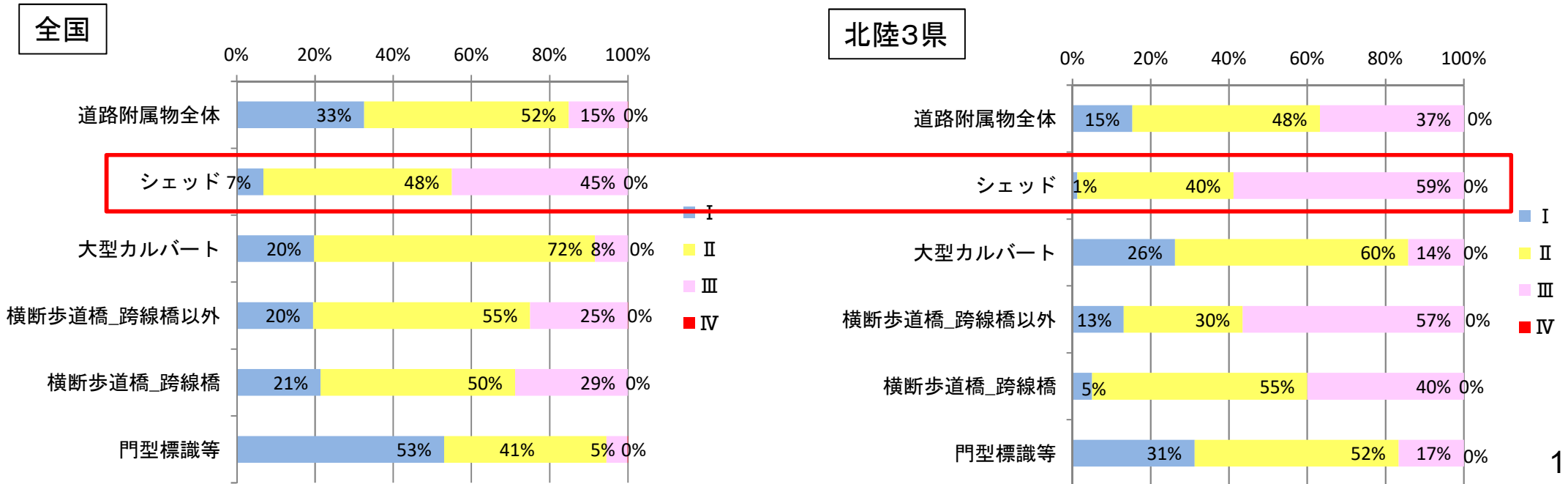
- 北陸3県では、全国に比べ、道路附属物におけるシェッド施設数の割合が高い
- 北陸3県では、全国に比べ、シェッド・横断歩道橋のⅢの割合が高い
- 特にシェッドは59%がⅢ、40%がⅡである

## ＜道路附属物の割合＞



## ＜判定区分の割合＞

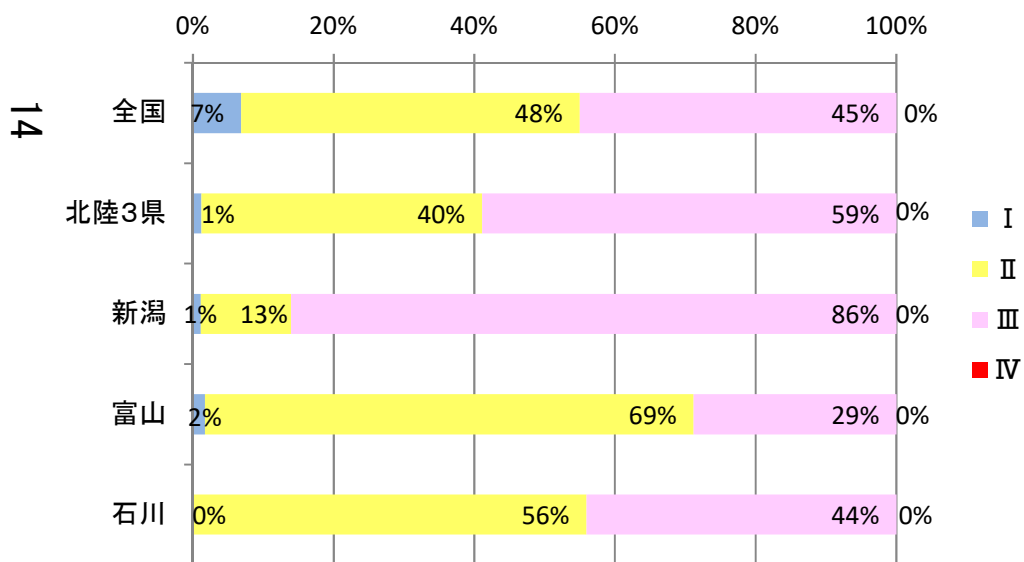
13



# 道路附属物（シェッド）の点検結果（2）

- 新潟県内のシェッドは、施設数も多く、Ⅲの割合も高い
- 富山県内のシェッドは、施設数は多いものの、全国に比べⅢの割合は低い
- 石川県内のシェッドは、全国と同程度

＜判定区分の割合＞



＜判定区分の数＞

